



# アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Aコース (為替ヘッジあり) アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)

追加型投信／海外／株式  
第27期(決算日2019年12月16日)

## ●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	Aコース(為替ヘッジあり)   Bコース(為替ヘッジなし) 追加型投信／海外／株式	
信託期間	2006年5月25日(当初設定日)から2024年6月17日までです。	
運用方針	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド受益証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 ①米国を本拠地とする企業が発行する普通株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。 ②企業のファンダメンタルズ分析と株価バリュエーションに基づく銘柄選択を基本としてアクティブ運用を行います。	
	実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動のリスクの低減を図ることを基本とします。	実質外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主運用対象	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Aコース (為替ヘッジあり)	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	
	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	米国を本拠地とする企業が発行する普通株式を主要投資対象とします。
組入制限	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Aコース (為替ヘッジあり)	①株式への実質投資割合は、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)	
	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	①株式への投資については、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資については、制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当等収入及び売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配金額は、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。 ③留保益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針および「運用方法」に基づいて運用を行います。	

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Aコース (為替ヘッジあり)」「アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース (為替ヘッジなし)」は、このたび第27期の決算を行いました。

ここに、当期の運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

## Aコース（為替ヘッジあり）

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税 達 配 金		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		分	配	騰落率	騰落率			
	円		円		%	%	%	百万円
23期(2017年12月15日)	20,160		170	10.9	23,614	9.1	91.3	6,410
24期(2018年6月15日)	21,915		190	9.6	24,783	5.0	90.4	12,916
25期(2018年12月17日)	20,116		210	△ 7.3	23,100	△ 6.8	91.4	19,485
26期(2019年6月17日)	22,405		200	12.4	25,562	10.7	90.2	21,968
27期(2019年12月16日)	24,422		200	9.9	27,998	9.5	91.2	39,085

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準価額	騰落率	ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
			騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2019年6月17日	22,405	—	25,562	—	90.2	—
6月末	22,784	1.7	25,886	1.3	89.6	—
7月末	23,502	4.9	26,638	4.2	89.9	—
8月末	23,063	2.9	25,856	1.2	90.7	—
9月末	22,756	1.6	26,176	2.4	91.2	—
10月末	23,715	5.8	26,908	5.3	91.6	—
11月末	24,567	9.6	27,858	9.0	89.7	—
(期末)						
2019年12月16日	24,622	9.9	27,998	9.5	91.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

#### ※ベンチマークについて

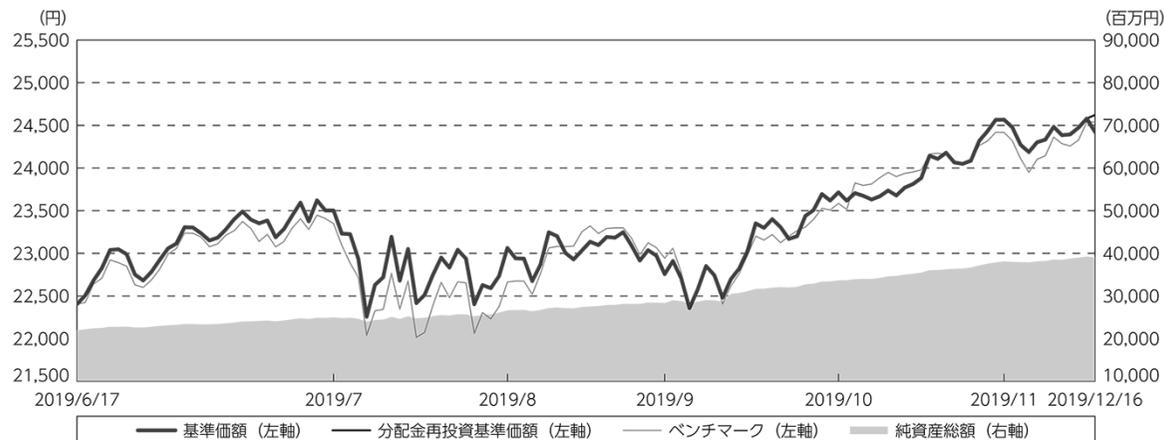
当ファンドのベンチマークは「S & P500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)」です。「S & P500株価指数(配当金込み、円ヘッジベース)」は、「S & P500株価指数(配当金込み、米ドルベース)」から為替ヘッジコストを控除した数値であり、ここでは当初設定日前日(2006年5月24日)を10,000として指数化しております。

## 運用経過

アラライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Aコース（為替ヘッジあり）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2019年6月18日～2019年12月16日）



期首：22,405円

期末：24,422円（既払分配金（税込み）：200円）

騰落率：9.9%（分配金再投資ベース）

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2019年6月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) ベンチマークは、S & P 500株価指数（配当金込み、円ヘッジベース）です。

### ○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比+9.9%\*と、ベンチマークであるS & P 500株価指数（配当金込み、円ヘッジベース）の同+9.5%を上回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

### ○基準価額の変動要因

米中通商協議進展への期待や金融緩和を背景に、保有していた米国株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。

## 投資環境

（2019年6月18日～2019年12月16日）

当期の米国株式市場は、期首（前期末）と比べて上昇しました。

期初から2019年7月末にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）による年内利下げ観測や、対メキシコ関税の見送り、米中通商協議進展への期待から米国株式市場は上昇しました。しかし、8月に入ると、トランプ米国大統領の対中追加関税の表明や、中国の人民元安容認姿勢などを背景とした米中貿易摩擦の激化が嫌気されて急落しました。その後も、米国債券市場で12年ぶりに長短金利が逆転したことで景気後退懸念が高まり、株式市場の下押し圧力となりました。しかし、8月下旬以降期末にかけては、景気減速懸念に対する予防措置としての金融緩和や、香港や欧州における地政学リスクの後退、欧州中央銀行の量的緩和、さらには米中通商協議の「第一段階」の合意実現にむけた期待感の高まりなどを背景に上昇基調となり、S & P 500種株価指数は史上最高値を試す展開となりました。

## 運用概況

（2019年6月18日～2019年12月16日）

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

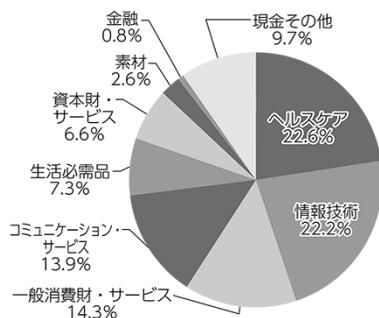
### <マザーファンド>

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、利益成長や高い収益性など、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

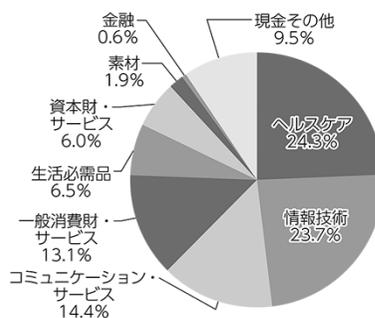
その結果、セクター配分においては、ヘルスケア・セクターや情報技術セクターの組入比率が上昇した一方、一般消費財・サービス・セクターや生活必需品セクターの組入比率が低下しました。

### マザーファンドのセクター別組入比率

期首（前期末）（2019年6月17日現在）



当期末（2019年12月16日現在）



（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。

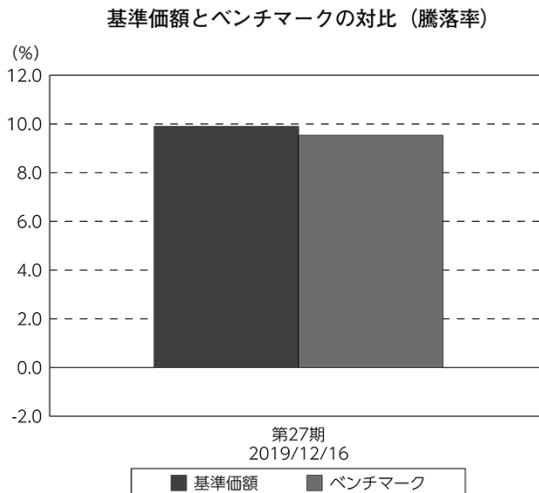
個別銘柄では、イルミナを買増しました。同社は、遺伝的変異や生物学的機能の分析のための統合システムを開発、製造、そして販売まで手掛けています。運用チームでは、医療現場でのDNAシーケンサー（配列解読装置）の採用が、依然堅調であることを高く評価しています。また、通信用半導体大手のクアルコムを新規に組み入れました。同社は、通信機器における5G（第5世代移動通信システム）の導入に際立った地位を確立しており、今後もインターネットアプリケーションを通じた新しい可能性の拡大が期待されます。一方、ブッキング・ホールディングスを一部売却しました。運用チームは、売上増よりも収益性を重視する同社の姿勢を評価してきましたが、競合するエクスペディア社の顧客獲得コスト増を踏まえると、同社の収益性重視の姿勢が崩れる可能性があるかと判断しました。また、バイオジェンを全て売却しました。同社によるアルツハイマー治療薬の承認申請の発表を受けて株価が上昇したことから、利益を確定しました。

株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年6月18日～2019年12月16日）

ベンチマークとの比較では、当期はヘルスケア・セクターや素材セクター、一般消費財・サービス・セクターにおける銘柄選択が主なプラス要因となりました。一方、情報技術セクターや生活必需品セクターにおける銘柄選択、金融セクターのアンダーウェイトなどはマイナス要因となりました。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、S & P500株価指数（配当金込み、円ヘッジベース）です。

## 分配金

（2019年6月18日～2019年12月16日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、200円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第27期
	2019年6月18日～ 2019年12月16日
当期分配金	200
（対基準価額比率）	0.812%
当期の収益	200
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	14,421

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

## 今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

米国株式市場は、米中通商交渉の進展への期待や堅調な経済指標および企業業績に下支えされ、依然堅調に推移しています。米国の金融政策や通商政策など、景気動向の変化の兆しには常に注視が必要ですが、変動性が高まる局面においては長期的なポートフォリオ構築に向け、割安で魅力的な銘柄への投資機会が増すと考えています。

マザーファンドにおいては、安定した収益性の高さを維持するとともに、総資産利益率や予想利益成長率が高く、長期的成長が期待される企業に注目してまいります。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2019年6月18日～2019年12月16日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	201 ( 96 ) ( 96 ) ( 9 )	0.859 (0.410) (0.410) (0.038)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価  購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価  運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	1 ( 1 )	0.004 (0.004)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数  売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 ( 0 )	0.000 (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数  有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	1 ( 1 ) ( 1 )	0.006 (0.003) (0.003)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用  その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	203	0.869	
期中の平均基準価額は、23,397円です。			

(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

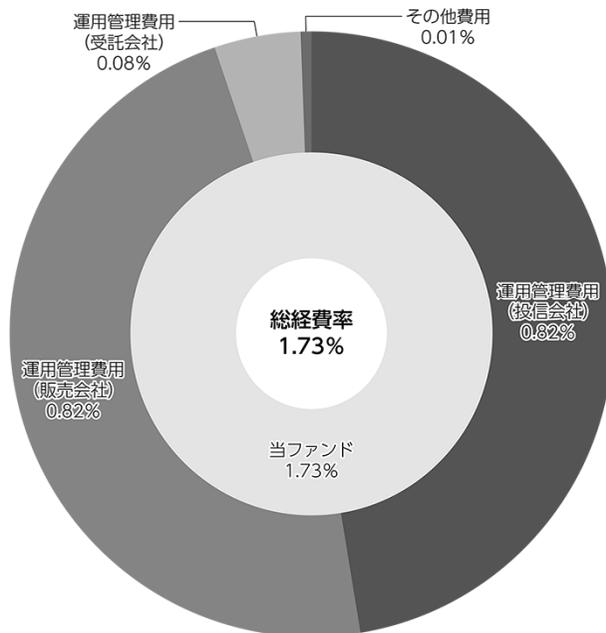
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2019年6月18日～2019年12月16日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
アライアンス・バーンスタイン・ 米国大型グロース株マザーファンド	千口 4,319,415	千円 15,512,564	千口 547,386	千円 2,006,470

（注）単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

（2019年6月18日～2019年12月16日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	212,587,235千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	495,638,832千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42

（注）株式売買金額は、受け渡し代金。

（注）平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

（注）単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2019年6月18日～2019年12月16日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年12月16日現在)

### 親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期	末
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・ 米国大型グロース株マザーファンド	6,390,530	10,162,559	39,380,934

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年12月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	39,380,934	98.5
コール・ローン等、その他	619,334	1.5
投資信託財産総額	40,000,268	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(637,151,595千円)の投資信託財産総額(647,057,360千円)に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=109.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年12月16日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	77,146,626,378
コール・ローン等	51,234,152
アライアンス・バーンスタイン・米国大型 グロース株マザーファンド(評価額)	39,380,934,806
未収入金	37,714,457,420
(B) 負債	38,061,492,031
未払金	37,442,736,198
未払収益分配金	320,086,317
未払解約金	51,221,165
未払信託報酬	246,647,818
未払利息	130
その他未払費用	800,403
(C) 純資産総額(A-B)	39,085,134,347
元本	16,004,315,896
次期繰越損益金	23,080,818,451
(D) 受益権総口数	16,004,315,896口
1万口当たり基準価額(C/D)	24,422円

(注) 期首元本額9,805,204,724円、期中追加設定元本額8,064,216,759円、期中一部解約元本額1,865,105,587円。当期末現在における1口当たり純資産額2,442円。

○損益の状況（2019年6月18日～2019年12月16日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 52,113
支払利息	△ 52,113
(B) 有価証券売買損益	3,093,805,119
売買益	4,594,286,221
売買損	△ 1,500,481,102
(C) 信託報酬等	△ 247,459,021
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,846,293,985
(E) 前期繰越損益金	1,433,887,933
(F) 追加信託差損益金	19,120,722,850
(配当等相当額)	( 15,900,754,012)
(売買損益相当額)	( 3,219,968,838)
(G) 計(D+E+F)	23,400,904,768
(H) 収益分配金	△ 320,086,317
次期繰越損益金(G+H)	23,080,818,451
追加信託差損益金	19,120,722,850
(配当等相当額)	( 15,900,754,012)
(売買損益相当額)	( 3,219,968,838)
分配準備積立金	3,960,147,714
繰越損益金	△ 52,113

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第27期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(0円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(2,846,312,228円)、収益調整金額(19,120,670,737円)および分配準備積立金額(1,433,921,803円)より分配対象収益額は23,400,904,768円(10,000口当たり14,621円)であり、うち320,086,317円(10,000口当たり200円)を分配金額としております。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	200円
-----------------	------

◆分配金は、「普通分配金」「元本払戻金(特別分配金)」に区分され、普通分配金に課税されます。その区分の基準は、下記のとおりです。

### ◇分配金の内訳

	お客様の個別元本が分配落ち後の基準価額に対して	
	超えるとき	同じかまたは下回るとき
元 本 払 戻 金 ( 特 別 分 配 金 )	お客様の個別元本－分配落ち後の基準価額 (分配金を限度とします。)	0円
普 通 分 配 金	分配金－元本払戻金(特別分配金)	分配金
個 別 元 本 の 修 正	修正前の個別元本－元本払戻金(特別分配金)	ありません。

(注) お客様の個別元本：原則として、お客さまの当ファンド取得金額（手数料は含まれません）の平均価格から元本払戻金(特別分配金)を控除した額（1万口当たり）をいいます。個別元本は、お客様が当ファンドを取得されたときおよび元本払戻金(特別分配金)が発生したときに、取得の申込みをされた販売会社によって再計算されます。

### ◇課税上の取扱い

①元本払戻金(特別分配金)：元本払戻金(特別分配金)は、お客様の取得元本の一部の払戻しに当たるため、課税されません。

②普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。

20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%)

※上記は、2019年12月16日現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## Bコース（為替ヘッジなし）

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	標準価額		ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
		税分配金	期騰落率	期騰落率	中率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
23期(2017年12月15日)	22,560	180	14.5	26,858	12.5	92.3	—	25,082
24期(2018年6月15日)	24,404	210	9.1	28,018	4.3	90.7	—	30,581
25期(2018年12月17日)	23,246	230	△ 3.8	27,104	△ 3.3	91.2	—	44,326
26期(2019年6月17日)	25,204	230	9.4	29,123	7.4	90.2	—	49,705
27期(2019年12月16日)	27,952	230	11.8	32,507	11.6	90.5	—	80,766

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

### ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率	ベンチマーク		株式組入比率	株式先物比率
			騰落率	騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2019年6月17日	25,204	—	29,123	—	90.2	—
6月末	25,444	1.0	29,279	0.5	90.1	—
7月末	26,523	5.2	30,439	4.5	90.0	—
8月末	25,538	1.3	29,014	△ 0.4	90.4	—
9月末	25,589	1.5	29,833	2.4	90.6	—
10月末	26,950	6.9	30,999	6.4	90.4	—
11月末	28,122	11.6	32,352	11.1	89.8	—
(期末)						
2019年12月16日	28,182	11.8	32,507	11.6	90.5	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、各騰落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

#### ※ベンチマークについて

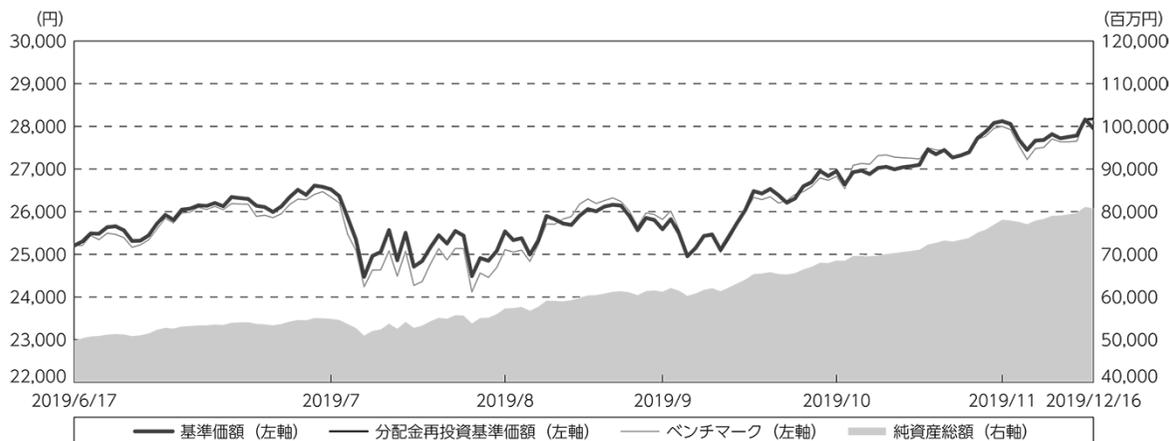
当ファンドのベンチマークは「S & P500株価指数(配当金込み、円ベース)」です。「S & P500株価指数(配当金込み、円ベース)」は、原則として基準価額計算日前日付の「S & P500株価指数(配当金込み、米ドルベース)」の値を、計算日付の円ドル・レート(株式会社三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値)で邦貨換算したものです。ここでは、当初設定日前日(2006年5月24日)を10,000として指数化しております。

## 運用経過

アラライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース（為替ヘッジなし）（以下「当ファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2019年6月18日～2019年12月16日）



期首：25,204円

期末：27,952円（既払分配金（税込み）：230円）

騰落率：11.8%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 上記騰落率は、小数第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 分配金再投資基準価額およびベンチマークは、期首（2019年6月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) ベンチマークは、S & P 500株価指数（配当金込み、円ベース）です。

### ○基準価額等の推移

基準価額（分配金（税込み）再投資）は前期末比+11.8%\*と、ベンチマークであるS & P 500株価指数（配当金込み、円ベース）の同+11.6%を上回るパフォーマンスとなりました。

※基準価額の騰落率は、税込み分配金を決算日の基準価額で全額再投資したと仮定した場合のパフォーマンスを示しています。税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資家の皆様の実際の投資成果を示すものではありません。

### ○基準価額の変動要因

米中通商協議進展への期待や金融緩和を背景に、保有していた米国株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。また、為替市場で円安ドル高となったことも、上昇要因となりました。

## 投資環境

（2019年6月18日～2019年12月16日）

### 【株式市場】

当期の米国株式市場は、期首（前期末）と比べて上昇しました。

期初から2019年7月末にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）による年内利下げ観測や、対メキシコ関税の見送り、米中通商協議進展への期待から米国株式市場は上昇しました。しかし、8月に入ると、トランプ米国大統領の対中追加関税の表明や、中国の人民元安容認姿勢などを背景とした米中貿易摩擦の激化が嫌気されて急落しました。その後も、米国債券市場で12年ぶりに長短金利が逆転したことで景気後退懸念が高まり、株式市場の下押し圧力となりました。しかし、8月下旬以降期末にかけては、景気減速懸念に対する予防措置としての金融緩和や、香港や欧州における地政学リスクの後退、欧州中央銀行の量的緩和、さらには米中通商協議の「第一段階」の合意実現にむけた期待感の高まりなどを背景に上昇基調となり、S & P 500種株価指数は史上最高値を試す展開となりました。

### 【為替市場】

為替市場は、前期末は1ドル＝108円台でしたが、利下げ期待などによる米国株式市場の上昇を受けてドルは強含み、2019年8月初めには109円台となりました。しかし、その後トランプ米国大統領による対中追加関税表明に端を発した株価急落によって一気にドルが売られ、8月中旬には105円台まで円高ドル安が進みました。8月下旬以降期末にかけては、米中通商協議を巡る投資家心理の改善に後押しされて、堅調に推移する株式市場を背景に円安ドル高基調となり、当期末は、1ドル＝109円台となりました。

## 運用概況

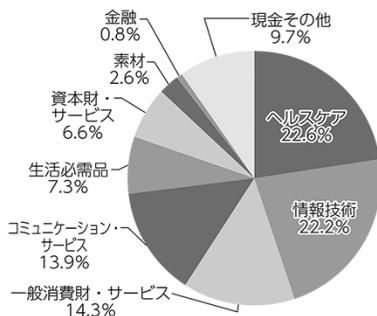
（2019年6月18日～2019年12月16日）

当ファンドはアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド（以下「マザーファンド」ということがあります。）受益証券への投資を通じて、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

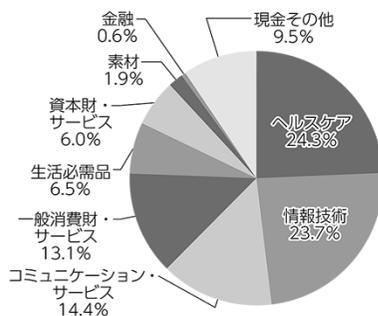
当ファンドは、ほぼ全額をマザーファンド受益証券に投資しました。

### マザーファンドのセクター別組入比率

期首（前期末）（2019年6月17日現在）



当期末（2019年12月16日現在）



（注）組入比率はアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard（GICS）の分類で区分しています。

## <マザーファンド>

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、利益成長や高い収益性など、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

その結果、セクター配分においては、ヘルスケア・セクターや情報技術セクターの組入比率が上昇した一方、一般消費財・サービス・セクターや生活必需品セクターの組入比率が低下しました。

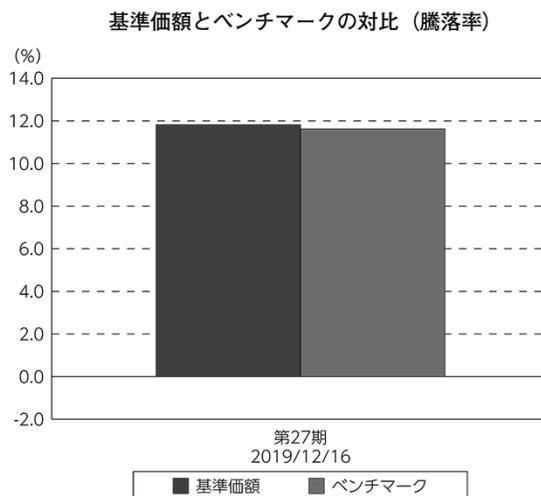
個別銘柄では、イルミナを買増しました。同社は、遺伝的変異や生物学的機能の分析のための統合システムを開発、製造、そして販売まで手掛けています。運用チームでは、医療現場でのDNAシーケンサー（配列解読装置）の採用が、依然堅調であることを高く評価しています。また、通信用半導体大手のクアルコムを新規に組み入れました。同社は、通信機器における5G（第5世代移動通信システム）の導入に際立った地位を確立しており、今後もインターネットアプリケーションを通じた新しい可能性の拡大が期待されます。一方、ブッキング・ホールディングスを一部売却しました。運用チームは、売上増よりも収益性を重視する同社の姿勢を評価してきましたが、競合するエクスペディア社の顧客獲得コスト増を踏まえると、同社の収益性重視の姿勢が崩れる可能性があるかと判断しました。また、バイオジェンを全て売却しました。同社によるアルツハイマー治療薬の承認申請の発表を受けて株価が上昇したことから、利益を確定しました。

株式の組入比率は期を通じて高い水準を維持しました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

（2019年6月18日～2019年12月16日）

ベンチマークとの比較では、当期はヘルスケア・セクターや素材セクター、一般消費財・サービス・セクターにおける銘柄選択が主なプラス要因となりました。一方、情報技術セクターや生活必需品セクターにおける銘柄選択、金融セクターのアンダーウェイトなどはマイナス要因となりました。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）ベンチマークは、S & P 500株価指数（分配金込み、円ベース）です。

## 分配金

（2019年6月18日～2019年12月16日）

当期の収益分配については、配当等収益に基づき、基準価額水準、市場動向等を勘案し、230円（1万口当たり、税込み）としました。なお、収益分配に充てなかった利益については、信託財産内に留保し「運用の基本方針」に基づいて運用を行います。

## 分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第27期
	2019年6月18日～ 2019年12月16日
当期分配金	230
（対基準価額比率）	0.816%
当期の収益	230
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	17,952

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の当期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）「当期の収益」、「当期の収益以外」は小数以下切り捨てで算出しているため合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

（注）上記表は、経費控除後の数値です。分配金の計算過程については、「損益の状況」の注記をご覧ください。

## 今後の運用方針

引き続き、マザーファンド受益証券にほぼ全額投資する方針です。

### <マザーファンド>

米国株式市場は、米中通商交渉の進展への期待や堅調な経済指標および企業業績に下支えされ、依然堅調に推移しています。米国の金融政策や通商政策など、景気動向の変化の兆しには常に注視が必要ですが、変動性が高まる局面においては長期的なポートフォリオ構築に向け、割安で魅力的な銘柄への投資機会が増すと考えています。

マザーファンドにおいては、安定した収益性の高さを維持するとともに、総資産利益率や予想利益成長率が高く、長期的成長が期待される企業に注目してまいります。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

（2019年6月18日～2019年12月16日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 226	% 0.859	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(108)	(0.410)	委託した資金の運用、基準価額の算出等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(108)	(0.410)	購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
（ 受 託 会 社 ）	( 10)	(0.038)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	1	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 1)	(0.004)	売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	( 0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	2	0.006	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	( 1)	(0.003)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	( 1)	(0.003)	その他は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、受益権の管理事務に係る費用、印刷業者等に支払う法定書類の作成・印刷・交付および届出に係る費用等
合 計	229	0.869	
期中の平均基準価額は、26,361円です。			

(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

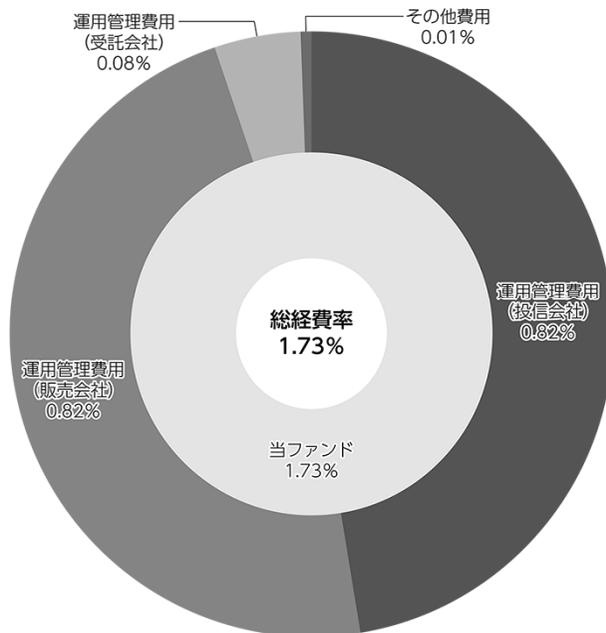
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.73%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

（2019年6月18日～2019年12月16日）

### 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
アライアンス・バーンスタイン・ 米国大型グロース株マザーファンド	千口 6,780,000	千円 24,505,147	千口 394,853	千円 1,492,360

（注）単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

（2019年6月18日～2019年12月16日）

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	212,587,235千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	495,638,832千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.42

（注）株式売買金額は、受け渡し代金。

（注）平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額（外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額）の単純平均。

（注）単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

（2019年6月18日～2019年12月16日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年12月16日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
アライアンス・バーンスタイン・ 米国大型グロース株マザーファンド	14,456,660	20,841,808	80,764,090

(注) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2019年12月16日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド	80,764,090	97.9
コール・ローン等、その他	1,735,979	2.1
投資信託財産総額	82,500,069	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（637,151,595千円）の投資信託財産総額（647,057,360千円）に対する比率は98.5%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=109.43円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年12月16日現在）

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	82,500,069,803	
コール・ローン等	545,279,289	
アライアンス・バーンスタイン・米国大型 グロース株マザーファンド(評価額)	80,764,090,514	
未収入金	1,190,700,000	
(B) 負債	1,733,772,786	
未払収益分配金	664,570,172	
未払解約金	544,061,946	
未払信託報酬	523,112,221	
未払利息	1,389	
その他未払費用	2,027,058	
(C) 純資産総額(A-B)	80,766,297,017	
元本	28,894,355,306	
次期繰越損益金	51,871,941,711	
(D) 受益権総口数	28,894,355,306口	
1万口当たり基準価額(C/D)	27,952円	

(注) 期首元本額19,721,027,242円、期中追加設定元本額13,217,116,421円、期中一部解約元本額4,043,788,357円。当期末現在における1口当たり純資産額2,7952円。

○損益の状況（2019年6月18日～2019年12月16日）

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	△ 68,311	
支払利息	△ 68,311	
(B) 有価証券売買損益	7,565,931,819	
売買益	8,083,837,055	
売買損	△ 517,905,236	
(C) 信託報酬等	△ 525,139,279	
(D) 当期繰越損益金(A+B+C)	7,040,724,229	
(E) 前期繰越損益金	5,291,138,804	
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	40,204,648,850 ( 35,370,418,778)	
(売買損益相当額)	( 4,834,230,072)	
(G) 計(D+E+F)	52,536,511,883	
(H) 収益分配金	△ 664,570,172	
次期繰越損益金(G+H)	51,871,941,711	
追加信託差損益金 (配当等相当額)	40,204,648,850 ( 35,370,418,778)	
(売買損益相当額)	( 4,834,230,072)	
分配準備積立金	11,667,361,172	
繰越損益金	△ 68,311	

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額およびその他費用等を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 第27期計算期間末における費用控除後の配当等収益額(0円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(7,040,744,028円)、収益調整金額(40,204,580,539円)および分配準備積立金額(5,291,187,316円)より分配対象収益額は52,536,511,883円(10,000口当たり18,182円)であり、うち664,570,172円(10,000口当たり230円)を分配金額としております。

## ○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	230円
-----------------	------

◆分配金は、「普通分配金」「元本払戻金(特別分配金)」に区分され、普通分配金に課税されます。その区分の基準は、下記のとおりです。

### ◇分配金の内訳

	お客様の個別元本が分配落ち後の基準価額に対して	
	超えるとき	同じかまたは下回るとき
元 本 払 戻 金 ( 特 別 分 配 金 )	お客様の個別元本－分配落ち後の基準価額 (分配金を限度とします。)	0円
普 通 分 配 金	分配金－元本払戻金(特別分配金)	分配金
個 別 元 本 の 修 正	修正前の個別元本－元本払戻金(特別分配金)	ありません。

(注) お客様の個別元本：原則として、お客さまの当ファンド取得金額（手数料は含まれません）の平均価格から元本払戻金(特別分配金)を控除した額（1万口当たり）をいいます。個別元本は、お客様が当ファンドを取得されたときおよび元本払戻金(特別分配金)が発生したときに、取得の申込みをされた販売会社によって再計算されます。

### ◇課税上の取扱い

①元本払戻金(特別分配金)：元本払戻金(特別分配金)は、お客様の取得元本の一部の払戻しに当たるため、課税されません。

②普通分配金：個人の受益者の源泉徴収時には、配当所得として以下のように課税されます。

20.315% (所得税15%、復興特別所得税0.315%、住民税5%)

※上記は、2019年12月16日現在のものです。税法が改正された場合等には、税率等が変更される場合があります。

※法人の場合は上記とは異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2019年12月16日現在)

<アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド>

下記は、アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド全体(163,830,077千口)の内容です。

外国株式

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMETEK INC	3,499	3,885	38,299	4,191,106	資本財
AMPHENOL CORP-CL A	2,378	2,107	22,578	2,470,726	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ARISTA NETWORKS INC	3,208	2,476	47,770	5,227,500	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BURLINGTON STORES INC	4,031	3,998	90,326	9,884,386	小売
CONSTELLATION BRANDS INC-A	1,616	1,081	19,691	2,154,852	食品・飲料・タバコ
DOMINOS PIZZA INC	-	744	21,957	2,402,813	消費者サービス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	6,030	4,726	109,952	12,032,117	ヘルスケア機器・サービス
HOME DEPOT INC	7,754	8,458	181,079	19,815,583	小売
IDEX CORP	1,422	2,172	36,355	3,978,357	資本財
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL INC.	375	285	21,940	2,400,926	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NIKE INC -CL B	12,782	17,605	172,129	18,836,127	耐久消費財・アパレル
PAYCOM SOFTWARE INC	768	971	24,955	2,730,827	ソフトウェア・サービス
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,430	2,707	94,910	10,386,093	資本財
S&P GLOBAL INC	769	1,247	33,841	3,703,296	各種金融
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	2,430	1,903	108,934	11,920,678	素材
SLACK TECHNOLOGIES INC- CL A	-	9,582	20,497	2,243,022	ソフトウェア・サービス
SMITH (A. O.) CORP	7,177	3,957	18,411	2,014,744	資本財
STRYKER CORP	3,757	3,423	69,473	7,602,461	ヘルスケア機器・サービス
TJX COMPANIES INC	13,673	13,366	80,696	8,830,587	小売
TYLER TECHNOLOGIES INC	-	771	21,953	2,402,340	ソフトウェア・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	9,400	10,564	301,588	33,002,797	ヘルスケア機器・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	645	900	13,160	1,440,190	ヘルスケア機器・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	13,508	15,526	287,466	31,457,480	ソフトウェア・サービス
ZOETIS INC	15,799	16,019	199,363	21,816,339	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALLEGION PLC	7,124	7,342	90,316	9,883,296	資本財
(アメリカ・・・店頭市場)					
ABIOMED INC	-	1,686	30,670	3,356,307	ヘルスケア機器・サービス
ADOBE INC	2,080	2,937	93,408	10,221,662	ソフトウェア・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	-	1,600	42,588	4,660,429	ヘルスケア機器・サービス
ALPHABET INC-CL C	2,828	3,224	434,605	47,558,834	メディア・娯楽
ANSYS INC	109	115	2,937	321,474	ソフトウェア・サービス
APPLE INC	3,378	1,591	43,794	4,792,464	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BIOGEN INC	1,663	-	-	-	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BOOKING HOLDINGS INC	824	542	107,071	11,716,861	小売
COGNEX CORP	3,358	3,648	19,897	2,177,336	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COPART INC	9,365	7,567	67,062	7,338,607	商業・専門サービス
COSTCO WHOLESALE CORPORATION	5,039	4,426	129,203	14,138,744	食品・生活必需品小売り
ELECTRONIC ARTS INC	8,993	11,191	117,011	12,804,571	メディア・娯楽
ETSY INC	-	664	2,808	307,285	小売
EURONET WORLDWIDE INC	-	1,297	20,049	2,194,002	ソフトウェア・サービス
FACEBOOK INC-A	12,600	14,653	284,439	31,126,190	メディア・娯楽

アライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等	
	株 数	株 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ・・・店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
FASTENAL CO	4,723	—	—	—	資本財	
FIVE BELOW	—	3,098	38,374	4,199,300	小売	
IPG PHOTONICS CORP	1,190	1,533	22,183	2,427,561	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	
ILLUMINA INC	808	3,376	109,656	11,999,691	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
INTUITIVE SURGICAL INC	2,416	3,056	177,149	19,385,432	ヘルスケア機器・サービス	
MARKETAXESS HOLDINGS INC	508	—	—	—	各種金融	
MICROSOFT CORP	20,881	25,004	386,389	42,282,647	ソフトウェア・サービス	
MONSTER BEVERAGE CORP	26,575	37,001	230,183	25,189,017	食品・飲料・タバコ	
PAYPAL HOLDINGS INC	10,386	16,118	173,520	18,988,300	ソフトウェア・サービス	
QUALCOMM INC	—	5,972	52,452	5,739,830	半導体・半導体製造装置	
REGENERON PHARMACEUTICALS	2,483	3,394	127,768	13,981,760	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
TEXAS INSTRUMENTS INC	1,425	2,681	33,954	3,715,664	半導体・半導体製造装置	
ULTA BEAUTY INC	2,432	2,621	66,457	7,272,450	小売	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	6,920	9,547	209,062	22,877,697	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
XILINX INC	6,305	8,260	79,493	8,699,003	半導体・半導体製造装置	
ASML HOLDING NV-NY REG SHS	822	777	22,536	2,466,119	半導体・半導体製造装置	
合 計	株 数 ・ 金 額	257,709	313,421	5,252,379	574,767,911	
	銘柄 数 < 比 率 >	47	53	—	< 90.5% >	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 一印は該当なし。



# アライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド

第21期(決算日2019年6月17日)

(計算期間：2018年6月16日～2019年6月17日)

## ●当ファンドの仕組み

当ファンドの仕組みは次のとおりです。

運用方針	信託財産の成長を図ることを目標に積極的な運用を行います。
主要運用対象	米国を本拠地とする企業が発行する普通株式を主要投資対象とします。
組入制限	①株式への投資については、制限を設けません。 ②外貨建資産への投資については、制限を設けません。

## アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント

お問合せ先 お客様窓口

電話番号 03-5962-9687

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

ホームページアドレス <https://www.alliancebernstein.co.jp>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	円	騰落率	騰落率	騰落率			
17期(2015年6月15日)	22,349	45.5	478,015	33.7	95.8	—	百万円 80,565
18期(2016年6月15日)	19,591	△12.3	416,089	△13.0	96.1	—	176,368
19期(2017年6月15日)	25,286	29.1	516,072	24.0	95.7	—	151,755
20期(2018年6月15日)	32,112	27.0	605,903	17.4	90.7	—	294,470
21期(2019年6月17日)	34,360	7.0	629,789	3.9	90.3	—	485,376

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	円	騰落率	騰落率	騰落率		
(期首) 2018年6月15日	32,112	—	605,903	—	90.7	—
6月末	31,218	△2.8	590,995	△2.5	89.2	—
7月末	32,023	△0.3	613,087	1.2	89.4	—
8月末	33,373	3.9	636,312	5.0	89.9	—
9月末	34,374	7.0	654,529	8.0	89.9	—
10月末	31,424	△2.1	601,600	△0.7	91.2	—
11月末	32,554	1.4	616,538	1.8	91.7	—
12月末	29,490	△8.2	549,110	△9.4	93.0	—
2019年1月末	31,368	△2.3	581,476	△4.0	90.6	—
2月末	33,615	4.7	617,609	1.9	91.6	—
3月末	34,185	6.5	624,465	3.1	91.6	—
4月末	35,724	11.2	654,756	8.1	91.0	—
5月末	33,465	4.2	611,538	0.9	90.4	—
(期末) 2019年6月17日	34,360	7.0	629,789	3.9	90.3	—

(注) 各騰落率は期首比です。

(注) 株式先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 月末は、各月の最終営業日です。

### ※参考指数について

当マザーファンドの参考指数はS & P500株価指数（配当金込み、円ベース）です。S & P500株価指数（配当金込み、円ベース）は、原則として基準価額計算日前日付のS & P500株価指数（配当金込み、米ドルベース）の値を、委託会社が計算日付の円ドル・レート（三菱UFJ銀行が発表する対顧客電信売買相場の仲値）を用いて円換算したものです。

## 運用経過

アラライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド（以下「当マザーファンド」ということがあります。）の運用状況をご報告いたします。

### 期中の基準価額等の推移

（2018年6月16日～2019年6月17日）

#### ○基準価額等の推移

基準価額は前期末比+7.0%となりました。

#### ○基準価額の主な変動要因

保有していた米国株式が上昇したことから、基準価額は上昇しました。一方、為替市場で円高ドル安となったことはマイナス要因となりました。

当期中の基準価額の推移  
2018年6月16日～2019年6月17日



当期中の参考指数の推移  
2018年6月16日～2019年6月17日



\*参考指数については前ページ「※参考指数について」をご参照ください。

### 投資環境

（2018年6月16日～2019年6月17日）

#### 【株式市場】

当期の米国株式市場は、期首（前期末）と比べて上昇しました。

期初から2018年10月初めにかけては、米中貿易摩擦への懸念が和らいだことや、好調な企業決算を背景に、株式市場は大きく上昇しました。しかし、その後2018年年末にかけては、米国長期金利の急上昇に加え、中国通信機器大手の幹部逮捕による米中関係悪化への懸念から、大幅に下落しました。2019年1月以降は、米中通商協議への期待が高まったことや、米連邦公開市場委員会（FOMC）のハト派的な姿勢が好感されたこと、さらには好調な企業決算も株価の上昇要因となり、4月末にS & P 500株価指数は史上最高値を更新しました。しかし、6月上旬にかけては、パウエル米連邦準備理事会（FRB）議長が利下げに否定的な姿勢を示したことや、トランプ米国大統領の対中追加関税発言などが懸念材料となり、大幅に下落しました。その後期末にかけては、FRBが利下げ方向に舵を切ったとの見方や、弱い米国経済指標を背景に年内利下げ期待が高まり、反発しました。

【為替市場】

為替市場は、前期末は1ドル=110円台でしたが、良好な米国経済を背景とした利上げ期待から、2018年7月には113円台まで円安ドル高が進みました。8月には、トランプ米国大統領のドル高けん制発言や、対中関税への懸念から、一時110円を割り込みましたが、対中追加関税が想定より穏当だったことから反転し、10月には、114円台まで円安ドル高が進みました。その後は、F R Bの利上げ継続姿勢などを嫌気した米国株安とともに円高ドル安が進み、2019年年明けには一時108円を割り込みました。その後は、米中通商問題への懸念が和らぎ、3月初めには112円近辺まで回復しました。しかし、3月のF O M Cで金利が据え置かれたことで、日米金利差縮小から、一時110円を割り込みました。その後、米国株式市場が史上最高値を更新するなど株高に連れて112円台まで円安ドル高が進みましたが、対中関税引き上げなど米中貿易摩擦激化への懸念が嫌気され、当期末は、1ドル=108円台となりました。

運用概況

(2018年6月16日～2019年6月17日)

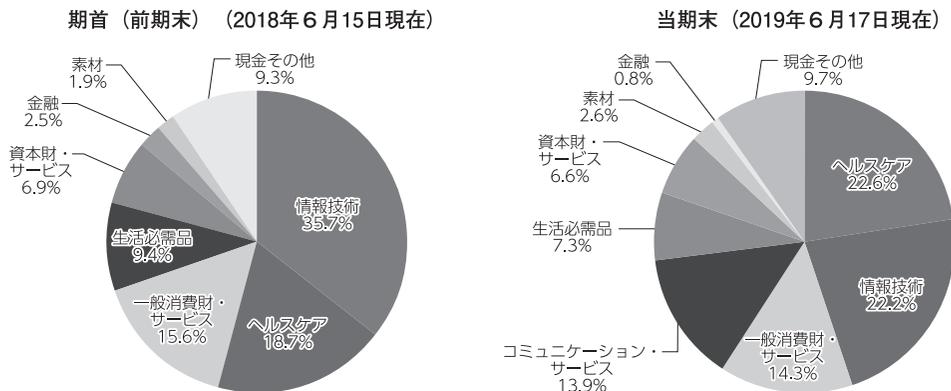
当マザーファンドは、主として成長の可能性が高いと判断される米国株式へ投資することにより、信託財産の成長を目指します。

ボトムアップによるファンダメンタル分析を行い、高い利益成長もしくは持続的な利益成長の可能性が高いと判断される銘柄を厳選します。運用にあたっては、利益成長や高い収益性など、ファンダメンタルズの優れた銘柄を中心に投資する方針で臨みました。

その結果、セクター配分においては、ヘルスケア・セクターや情報技術セクターが上位となりました。

個別銘柄では、ソフトウェアを開発・販売するマイクロソフトを新規に買付けたほか、ソーシャル・ネットワークワーキング・サービスのフェイスブックなどを買い増しました。一方、バイオ医療企業のバイオジェンやアルコール飲料大手のコンステレーション・ブランズなどを一部売却しました。また、ゲームソフト会社のアクティビジョン・ブリザードを全売却しました。

セクター別組入比率



(注) 組入比率はアライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンドの純資産総額に対する割合です。セクター配分は、MSCI/S&PのGlobal Industry Classification Standard (GICS) の分類で区分しています。前期末から当期末にかけてGICSによるセクター分類が一部変更されております。

## 今後の運用方針

2019年年初来のグロース株のパフォーマンスはバリュー株を大幅に上回っており、特に利益成長や収益性の高い銘柄が大きく上昇しました。数年にわたって断続的に行われてきた金融引き締めの影響で、足元に経済減速の兆候がみられるものの、金融市場の過熱感は和らいでおり、米国経済は依然として潜在成長率を上回っています。引き続き変動性の高い相場は続くものの、今後も堅調な経済成長が続くとみています。

当マザーファンドにおいては、安定した収益性の高さを維持するとともに、総資産利益率や予想利益成長率が高く、長期的成長が期待される企業に注目してまいります。

※将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1万口当たりの費用明細

(2018年6月16日～2019年6月17日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 4 (4)	% 0.013 (0.013)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数  売買委託手数料は、組入金融商品等の売買の際に売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 ( 株 式 )	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数  有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 ( 保 管 費 用 ) ( そ の 他 )	2 (2) (0)	0.007 (0.007) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用  その他は、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	6	0.021	
期中の平均基準価額は、32,734円です。			

(注) 期中の費用(消費税等の課されるものは消費税等相当額を含めて表示)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。ただし、平均基準価額は円未満切り捨て。

(注) 各比率は、1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2018年6月16日～2019年6月17日)

株式

外 国	買 付	買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
アメリカ	百株 211,432 ( 7,961)	千米ドル 2,781,442 ( - )	百株 128,801	千米ドル 1,494,591	

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) ( )内は株式分割、予約権行使(株式転換)、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注) 単位未満は切り捨て。

(注) -印は該当なし。

## ○株式売買比率

(2018年6月16日～2019年6月17日)

### 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	476,806,988千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	397,764,816千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.19

(注) 株式売買金額は、受け渡し代金。

(注) 平均組入株式時価総額は、各月末現在の組入株式時価総額(外貨建株式は、当該月末日の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した額)の単純平均。

(注) 単位未満は切り捨て。

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年6月16日～2019年6月17日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年6月17日現在)

外国株式

銘柄	期首(前期末) 株数	当 期 末 株数	評 価 額		業 種 等
			外貨建金額 邦貨換算金額		
			千米ドル	千円	
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)	百株	百株	千米ドル	千円	
AMETEK INC	—	3,499	29,743	3,231,885	資本財
AMPHENOL CORP-CL A	1,361	2,378	22,430	2,437,316	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ARISTA NETWORKS INC	679	3,208	75,755	8,231,564	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BURLINGTON STORES INC	—	4,031	68,007	7,389,681	小売
CONSTELLATION BRANDS INC-A	3,751	1,616	30,330	3,295,700	食品・飲料・タバコ
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	4,935	6,030	110,920	12,052,656	ヘルスケア機器・サービス
HOME DEPOT INC	5,385	7,754	159,570	17,338,977	小売
IDEX CORP	684	1,422	22,711	2,467,808	資本財
METTLER-TOLEDO INTERNATIONAL INC.	229	375	29,684	3,225,520	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
NIKE INC -CL B	9,279	12,782	106,654	11,589,051	耐久消費財・アパレル
PAYCOM SOFTWARE INC	—	768	16,477	1,790,432	ソフトウェア・サービス
RED HAT INC	544	—	—	—	ソフトウェア・サービス
ROPER TECHNOLOGIES INC	1,362	1,430	52,157	5,667,466	資本財
S&P GLOBAL INC	2,288	769	17,295	1,879,376	各種金融
SALESFORCE.COM INC	688	—	—	—	ソフトウェア・サービス
SHERWIN-WILLIAMS CO/THE	1,243	2,430	115,129	12,509,934	素材
SMITH (A. O.) CORP	4,679	7,177	32,678	3,550,823	資本財
STRYKER CORP	1,282	3,757	73,439	7,979,930	ヘルスケア機器・サービス
TJX COMPANIES INC	5,852	13,673	72,933	7,924,964	小売
UNITEDHEALTH GROUP INC	4,166	9,400	230,649	25,062,323	ヘルスケア機器・サービス
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A	—	645	10,633	1,155,448	ヘルスケア機器・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	9,349	13,508	229,186	24,903,430	ソフトウェア・サービス
WABCO HOLDINGS INC	1,861	—	—	—	資本財
ZOETIS INC	8,874	15,799	175,047	19,020,689	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
ALLEGION PLC	5,034	7,124	75,531	8,207,265	資本財
(アメリカ・・・店頭市場)					
ACTIVISION BLIZZARD INC	4,005	—	—	—	メディア・娯楽
ADOBE INC	2,138	2,080	57,069	6,201,224	ソフトウェア・サービス
ALPHABET INC-CL C	1,827	2,828	307,032	33,362,150	メディア・娯楽
ANSYS INC	—	109	2,162	234,957	ソフトウェア・サービス
APPLE INC	4,463	3,378	65,120	7,075,991	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
BIOGEN INC	3,327	1,663	37,877	4,115,789	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
BOOKING HOLDINGS INC	205	824	146,393	15,907,120	小売
COGNEX CORP	—	3,358	14,673	1,594,418	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
COGNIZANT TECH SOLUTIONS-A	2,654	—	—	—	ソフトウェア・サービス
COMCAST CORP-CL A	4,728	—	—	—	メディア・娯楽
COPART INC	6,272	9,365	69,126	7,511,281	商業・専門サービス
COSTCO WHOLESALE CORPORATION	4,671	5,039	131,101	14,245,466	食品・生活必需品小売り
DOLLAR TREE INC	3,892	—	—	—	小売
ELECTRONIC ARTS INC	1,734	8,993	83,397	9,062,009	メディア・娯楽
FACEBOOK INC-A	9,649	12,600	228,481	24,826,791	メディア・娯楽
FASTENAL CO	874	4,723	14,951	1,624,591	資本財
FISERV INC	3,380	—	—	—	ソフトウェア・サービス
IPG PHOTONICS CORP	—	1,190	15,708	1,706,858	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
ILLUMINA INC	—	808	27,824	3,023,403	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
INTUITIVE SURGICAL INC	1,572	2,416	119,973	13,036,320	ヘルスケア機器・サービス

アラライアンス・バーンスタイン・米国大型グロース株マザーファンド

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等		
		株 数	評 価 額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(アメリカ・・・店頭市場)	百株	百株	千米ドル	千円		
MARKETAXESS HOLDINGS INC	931	508	16, 282	1, 769, 226	各種金融	
MICROSOFT CORP	—	20, 881	276, 580	30, 053, 265	ソフトウェア・サービス	
MONSTER BEVERAGE CORP	11, 883	26, 575	162, 985	17, 710, 019	食品・飲料・タバコ	
NVIDIA CORP	365	—	—	—	半導体・半導体製造装置	
PAYPAL HOLDINGS INC	6, 317	10, 386	120, 660	13, 110, 925	ソフトウェア・サービス	
REGENERON PHARMACEUTICALS	724	2, 483	75, 793	8, 235, 725	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
STARBUCKS CORP	7, 389	—	—	—	消費者サービス	
TEXAS INSTRUMENTS INC	1, 106	1, 425	15, 292	1, 661, 710	半導体・半導体製造装置	
ULTA BEAUTY INC	1, 930	2, 432	86, 268	9, 373, 925	小売	
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	—	6, 920	117, 797	12, 799, 859	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
XILINX INC	7, 533	6, 305	66, 473	7, 223, 036	半導体・半導体製造装置	
ASML HOLDING NV-NY REG SHS	—	822	15, 784	1, 715, 094	半導体・半導体製造装置	
合 計	株数・金額 銘柄数<比率>	167, 116 46	257, 709 47	4, 031, 781 —	438, 093, 410 <90.3%>	

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注) ー印は該当なし。

○投資信託財産の構成

(2019年6月17日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株式	438, 093, 410	88. 8
コール・ローン等、その他	54, 995, 090	11. 2
投資信託財産総額	493, 088, 500	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(487, 256, 900千円)の投資信託財産総額(493, 088, 500千円)に対する比率は98. 8%です。

(注) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、邦貨換算に使用した為替レートは、1米ドル=108. 66円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年6月17日現在)

項目	当期末
(A) 資産	498,618,200,252 円
コール・ローン等	52,417,603,743
株式(評価額)	438,093,410,772
未収入金	7,850,903,787
未収配当金	256,281,950
(B) 負債	13,241,254,956
未払金	5,982,289,310
未払解約金	7,258,950,000
未払利息	15,646
(C) 純資産総額(A-B)	485,376,945,296
元本	141,262,466,923
次期繰越損益金	344,114,478,373
(D) 受益権総口数	141,262,466,923口
1万口当たり基準価額(C/D)	34,360円

(注) 期首元本額91,699,925,837円、期中追加設定元本額84,106,342,187円、期中一部解約元本額34,543,801,101円。当期末現在における1口当たり純資産額3,4360円。

(注) 当期末現在において、当親投資信託受益証券を組み入れているベビーフンドの組入元本額の内訳は、下記のとおりです。

<組入元本額の内訳>

アラライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Aコース(為替ヘッジあり)	6,390,530,709円
アラライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Bコース(為替ヘッジなし)	14,456,660,790円
アラライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Cコース毎月決算型(為替ヘッジあり) 予想分配金提示型	38,221,664,403円
アラライアンス・バーンスタイン・米国成長株投信Dコース毎月決算型(為替ヘッジなし) 予想分配金提示型	82,193,611,021円

○お知らせ

2018年6月16日以降において、当マザーファンドの信託約款について、以下に掲げる事項を内容とする変更を行いました。

2014年12月1日に投資信託及び投資法人に関する法律が改正施行されたことに伴い、信託約款第20条の2(信用リスク集中回避のための投資制限)を新設し、一般社団法人投資信託協会規則に定める一の者に対する株式等エクスポージャー、債券等エクスポージャーおよびデリバティブ等エクスポージャーの信託財産の純資産総額に対する比率は、原則として、それぞれ100分の10、合計で100分の20を超えないものとし、当該比率を超えることとなった場合には、委託会社は、一般社団法人投資信託協会規則に従い当該比率以内となるよう調整を行うこととしました。併せて、「運用の基本方針」にも記載し、その他所要の変更を行いました。

信託約款第3条(信託金の限度額)第1項中、「金5,000億円」とあるのを「金1兆円」に変更しました。  
(変更日:2018年9月14日)

○損益の状況 (2018年6月16日~2019年6月17日)

項目	当期
(A) 配当等収益	3,012,051,302 円
受取配当金	2,478,682,778
受取利息	536,844,010
支払利息	△ 3,475,486
(B) 有価証券売買損益	26,427,154,821
売買益	57,142,564,035
売買損	△ 30,715,409,214
(C) 保管費用等	△ 31,737,003
(D) 当期損益金(A+B+C)	29,407,469,120
(E) 前期繰越損益金	202,770,499,771
(F) 追加信託差損益金	191,168,769,814
(G) 解約差損益金	△ 79,232,260,332
(H) 計(D+E+F+G)	344,114,478,373
次期繰越損益金(H)	344,114,478,373

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。